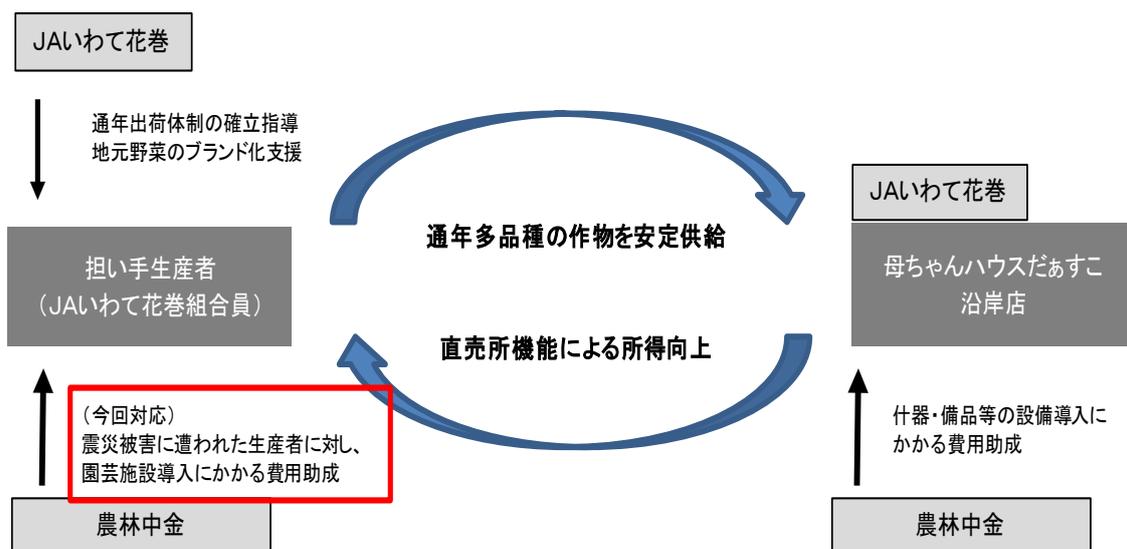


【ご参考】

1 JAいわて花巻の概要（平成29年2月末時点）

名 称	花巻農業協同組合
所 在 地	岩手県花巻市野田 316-1
設 立 年 月 日	平成10年3月1日
代 表 者	阿部 勝昭
概 要	<ul style="list-style-type: none">・ 組合員数 41,551名（含准組合員）・ 管内市町村数 4市2町 （花巻市、遠野市、北上市、釜石市、大槌町、西和賀町）・ 平成17年、当JAの産直施設「母ちゃんハウスだあすこ」が農林水産省「立ち上がる農山漁村」に選定・ 平成28年、大槌町に「母ちゃんハウスだあすこ沿岸店」開設

2 支援先等の取組概要



当JA管内の沿岸市町（釜石市、大槌町）は耕作面積1,127haを有していましたが、震災による津波被害によって66haが被災農地となりました（現在は、およそ半分の面積が復旧）。一方で、こうした被災沿岸地域では、津波による土壌流出・地力低下により、震災以前の農業所得水準までの回復には、依然として多岐に渡る問題が山積しています。

こうした中、当JAでは、農業所得の回復、地域農業振興に向けて、大型産直施設の整備および農産物の産地化を進め、当地域を付加価値の高い園芸拠点へ転換すべく取り組んでいるところです。

大型産直施設については、平成 28 年 1 月に「母ちゃんハウスだあすこ沿岸店」を開設し、営業を行っております（当金庫も費用を一部助成）。

産地化については、担い手生産者と J A の営農指導員が連携し、地元農産物のブランド化や多品目の野菜の通年での栽培に取り組んでおります。

その一環として、パイプハウス等を導入することにより冬物野菜等の通年出荷体制を構築し、産直への出荷等を通じて地元農産物の産地化を目指すとともに、少ない農地でも回転数を上げることで農業者の所得が確保できる仕組みの構築に取り組んでおります。

※当 JA 管内においては、平成 28 年度にも別地区で農林中央金庫によるパイプハウス導入にかかる支援（助成額 8 百万円）を実施。導入先では通年出荷体制が構築され、被災農業者の所得向上に大きく貢献しております。

今回支援先があります大槌町下野地区は、平成 28 年度に農地として復旧しましたが、津波被害によって地力が低下しており、震災以前の収量確保が困難な状況となっております。

当金庫としては、震災被害からの営農復旧に合わせて、地域農業振興を目指す本取組みを後押しする観点から、今回のパイプハウス導入費用助成を実施いたしました。

担い手生産者による農産物の一部が産直施設に通年安定供給されることにより、農業者所得の回復、安定化が図られるとともに、地域の活性化にもつながるものと期待しております。

以上